

保護者の皆様へ

小松市立芦城中学校

芦城中学校 学びの道しるべ

令和5年4月18日に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果についてのお知らせです。

1 全国学力・学習状況調査結果（本校と県・国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	やや下回る	上回る
数学	平均並み	上回る
英語	やや下回る	平均並み

本校の特徴として、どの教科においても、「説明したり、表現したりする」記述式の設問において課題が見られます。

2 設問から見える成果(◎)と課題(△)

国語
◎語句の意味や漢字の書き取りなど、知識を問う問題がよくできていました。授業を通して新しい語句に触れること、毎週行っている漢字テストを継続することで、今後も力を伸ばしていきます。
△文章を読んで必要な情報を取り出し、それらを結び付けて自分の考えを書く問題に課題が見られました。これらの問題は、問いの条件に合わせて答える必要もあります。今後は、授業や定期テストを通して、複数の資料を読んで分かったことを説明したり、複数の条件に合うように答える問題を解いたりする機会を増やしていきます。
数学
◎基礎基本を問うような問題においては、比較的できていました。これからも授業を通して「できた」、「分かった」という経験を積み重ねて自信に繋げていきます。
△応用問題や記述問題が課題として挙げられます。これからはペアや班活動を行うときに、問題の答えに焦点を当てるのではなく、その答えにたどり着くまでの思考の過程や理由をより大切にしていきます。授業のなかで、まずは理由や数学术語を用いて説明する場面を口頭で行う機会を設けるところから始めていきます。
英語
◎聞き取りによる問題や、与えられた英語を適切に変えたり、不足している語を補ったりして会話が成り立つよう、英文を完成させる問題についてよくできていました。授業のなかで、意図的に英会話を増やすなどの場の設定を工夫し力を伸ばしていきます。
△ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表すグラフを選択する問題や自身の考えを書く問題について課題が見られました。授業のなかで文章を読む活動を取り入れ、一定の時間でまとまった量の文章を読むことに慣れるようにしていきます。また、読むことの活動については、文章の読解に終始せず、その内容について自身の考えを持ち、それを表現する活動を取り入れていきます。

学力とは、豊かな人間性、体力、健康とともに、子ども達が生きるために大切な力です。なお、本学力調査は、学力の特定の一部を推し量るものです。

3 質問紙調査の結果から良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

良好なもの ◎生活習慣に関する質問では、「朝食を毎日食べている」、「毎日同じ時間に起きている」と答えている生徒の割合が高いです。 ◎「自分には、良いところがある」、「将来の夢をもっている」と答えている生徒の割合が高いです。 ◎授業に関する質問では、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えている生徒の割合が高いです。
課題となるもの △家で、自分で計画を立てて勉強（学校の授業の予習や復習を含む）している生徒の割合が低いです。 △地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある生徒の割合が低いです。

4 全国学力・学習状況調査、質問紙調査の結果を踏まえた改善策について

○学校での取組

学びづくりとして

- ★授業のなかで、機会をとらえながら、根拠をもとに、自分の考えを話したり、書いたりして伝える力を育成していきます。
- ★授業において、まとめ・振り返りの場を充実させ、学びの自覚化を図るとともに、新しい課題の発見に繋げていきます。
- ★自分の考えを「書く活動」や「表現する活動」を効果的に取り入れた取組を通して、主体的・対話的で深い学びを追究する生徒の育成をしていきます。
- ★積極的に授業にICT機器（学習用端末等）を取り入れ、効果的に活用できる力を育成していきます。
- ★朝読書を行うことで、読解力、自己表現力の向上を目指していきます。

家庭学習への取組として

- ★各学年の学習状況に応じて、家庭学習の充実への取組を行います。
- (例)：終礼時に、家庭学習の計画を立てる「あしのはタイム」の取組、週末課題の取組等

集団づくりとして

- ★生徒会や学年リーダー会主体で、学年の枠を超えた縦割り活動の取組を充実させ、他学年とのつながりを深めます。
- ★生徒が達成感や充実感を味わえるよう、学校行事では、一人一人が活躍できる場を意図的に設定していきます。
- ★生徒が将来の夢や目標を持ち、地域や社会に積極的に貢献できるよう、特別活動や総合的な学習の時間の取組を通してキャリア教育を充実していきます。
- ★クラス内での話し合い活動（アシトーク）においては、人間関係を深め、個人のスキルアップに繋がる取組をしていきます。

○ご家庭にお願いしたいこと

①サポーターとしての役割

頑張りを褒めたり、話を聞いてあげたりするだけで生徒は安心感や安定感を得ることができます。些細なことでもかまいませんので、お子様を褒め、話を聞いてあげてください。

②ファシリテーターとしての役割

生徒の自主性、主体性を引き出す誘導役となって下さい。中学生といえどもまだ「子ども」ですので判断が未熟で間違いを起こすこともあります。その時は単に「叱る」だけでなく、何がいけなかったのかが分かるよう具体的に言い聞かせ、どうしたらよいか考えられるように話をして下さい。そうすることにより、自分のことや、将来のことを考える主体性が育ち、今すべきことができるようになります。

③ペースメーカーとしての役割

規則正しい生活習慣と学習習慣の形成の支援をお願いします。食事、睡眠、整理整頓等の生活習慣をサポートし、ネットやゲーム等のルールづくりをお願いします。

家庭と学校が連携して 健やかな子どもの育ちを見守りましょう。